



プロフィール

第2660地区ガバナー

吉川 謹司



ガバナー 吉川 謹司

生年月日 1933年11月5日(昭和8年)
 現住所 大阪市中央区東心斎橋1-7-12
 最終学歴 大阪市立汎愛高等学校卒
 職歴 1967年/聖和観光株式会社(ホテルセイリュウ)専務取締役(昭和42年), 1992年/株式会社セイリュウ(オセイリュウ)代表取締役社長(平成4年)
 主な役職 ブラジル連邦政府商工観光省 観光局 日本代表, 大阪市・サンパウロ市 姉妹都市協会 理事, 日本・ブラジル文化交流協会 副会長
 賞 1980年/サンパウロ市アンジェッタ章 受賞(昭和55年), 1984年/サンパウロ市 名誉市民章 受賞(昭和59年), 1991年/ブラジル国 南十字星国家勲章 受賞(平成3年), 1995年/大阪市長 国際親善功労市民表彰 受賞(平成7年)
 ロータリー歴 1971年10月/東大阪東ロータリークラブ入会(昭和46年), 1986~1987年度/東大阪東ロータリークラブ 会長(昭和61~昭和62年度), 1996年/地区世界社会奉仕委員長(平成8年), 1996年/サンパウロリベルダーデロータリークラブ 名誉会員(平成8年)、米山功労者・マルチプルフェロー・ベネファクター

地区ガバナー就任の挨拶

— Follow Your Rotary Dream —
 (ロータリーの夢を追い続けよう)

ガバナー 吉川謹司

1998-99年の新しいロータリー年度がスタートいたしました。昨年2月ガバナー・ノミネーに指名されてより、ガバナー並びにパストガバナーの皆様方のご指導をいただき、多くの地区行事に参加させていただきました。そして、ロータリアンの皆様が計画から諸準備、実施、其の後のケアまで貴重な時間を奉仕活動にささげておられる姿を拝見し、心から敬意と感謝を表します。

ロータリー活動が真にその目的を達成するためには、個々のロータリアンが他を思いやる心と、参加する情熱に加え、ロータリアンが構成するクラブの自覚と行動があってはじめてなしうるものと思います。私はこの一年ロータリーチームの一員として、RIとのパイプ役に務め、各種情報を円滑に伝達することを心がけ、各クラブ会長さん、幹事さんを初め地区全ロータリアンの皆様と共に頑張ってまいりたいと願っております。

去る3月6日からアナハイムで行われました国際協議会におきまして、今年度のRIテーマがジェームス・L・レイシーRI会長より発表されました。



「Follow Your Rotary Dream」 (ロータリーの夢を追い続けよう)

考えてみますと、我々ロータリアン一人一人の夢を追い求めた結果、今日のロータリーが育まれました。ロータリアンが、今後も他の人々に対する奉仕の心を見失う事無く、思いやる心を掲げ、子供が愛され、健康で、十分な栄養を与えられ、教育を受け、保護される夢を現実のものとしていくなら、その大きな足跡は、人々に感動の心呼び起こし、世界の「希望」を守り伝えて行けると確信しております。

特に本年度、レイシー会長は「地域社会の関心事と子供たち」を強調され、新たなプログラムを創設するのでなく、今あるプログラムを通じて、我々が住む地域社会はもとより、地球上の全ての社会への奉仕の実践を要請されております。

我々の次の世代、そしてまた次の世代の子供たちのもとへ、ロータリーの夢を届け、我々ロータリアンが、遠い未来からの愛に包まれた歓喜のメッセージを受けとらなければなりません。

昨年度RI会長、グレン・W・キンロス氏は世界平和と国際理解を阻止する最強の敵は貧困であるとおっしゃいました。現在、この地球上には9億とも、10億ともいわれる飢餓、貧困に苦しむ人たちが居ります。現在我々が行っている支援に、金銭による支援、現物による支援、医療に対する支援、自立のための支援等、色々な方法により支援を致しておりますが、この飢餓、貧困から救出の最も重要な課題の一つが、教育問題です。

我々は今月の識字率向上月間に一層の関心を払い、支援していく必要があります。私は、皆様と共に新しい年度のスタートに相応しい活動をしていきたいと考えております。

他方、国内で頻繁に発生しております青少年の非行問題、特に最近では刃物による殺傷事件が相次いでおります。その他薬物乱用の拡大も、飢餓貧困に匹敵する勢いで子供たちの心を蝕んでいると感じられ、心の痛む思いがいたします。私たちは常に人々の生活を変えるロータリーの力と、子供たちへの援助を心にかけています。

「ロータリーへの関心を高めよう」

今年度、レイシー会長から皆様へ、ロータリークラブの強化が指摘されました。

「会員の退会防止と増強」

ロータリーの最大の資産は個々のロータリアンであるといわれております。

一人のロータリアンを失うごとにその資産は減少し、一人の会員を得る度に資産は増加して奉仕活動が活発になります。また、血液にたとえる方も居られ、血液が減少することにより体力が弱まり体の機能が衰えてくる、クラブで言えば奉仕活動が弱まり魅力に乏しいクラブとなります。国際ロータリーの統計によりますと、年間12万人の入会が有り、10万人の退会があるといわれております。その内容をよく見ますと退会者の60%は高齢其の他やむを得ない理由により退会されます。しかし、40%の退会者につきましては、その方々がロータリーへの関心を高め、友情を育み、奉仕活動に参加し、そしてそこからロータリー活動に感動と喜びを感じ、更にロータリーへの理解を深めることにより、退会を防止することが可能になるのではないかと思います。

地区目標は本年も純増2%といたしますが、是非、増強と同時に退会防止に力を入れていただくことをお願いします。



「四大奉仕部門」

クラブ奉仕部門

- 魅力あるクラブ作りのためにも、有効な広報活動により一層力を入れてください。広く地域の方々にロータリーを理解していただき、ロータリーに魅力を感じていただいて、特に若い人たちに入会の機会を提供してください。

職業奉仕

一業種一人、地域を代表される方として専門職務、同業者団体の指導的役割を果たされる中で、ロータリーの奉仕の理想、実際の奉仕活動を広く社会に認識していただくようロータリー活動を行ってください。

社会奉仕

我々の地域社会のニーズを的確に把握し、それぞれ地域社会の生活の質の向上を計るべく、独創的な奉仕活動をお願いします。

国際奉仕

国際間の理解と親善と平和を推進するうえからも、貧困から人々を救出しなければなりません。両親から子供へ、読み書きを教えることの出来ない人々に、識字率を向上させる奉仕活動があります。また、国際間の理解と親善を深めるためのプロジェクト、人道的プロジェクトを支援するために、ロータリー財団があります。

本年度のロータリー財団寄付の地区目標は前年と同様、お一人145ドル、また、ベネファクターは各クラブ最低1名とさせていただきます。各プロジェクト支援のためご協力をお願いいたします。

「4地区連合地区大会」の開催

1999年3月12・13日、大阪ドームで1990年代最後の地区大会が開かれます。これは2004年に予定されております国際大会のリハーサルでもあり、2660地区（大阪府北部一私共の地区）の他に、2640地区（大阪府南部・和歌山県）・2650地区（福井、滋賀、京都、奈良の一府三県）・2680地区（兵庫県）の4地区が力を合わせて取り組む事業です。

4地区、300クラブ、2万人の会員が一堂に会する地区大会は過去にも例が無く、ロータリーの協調を象徴する一大イベントになると思います。

是非、皆様と成功の喜びを分かち合えることを念願致しております。

勉強不足で至らない点多々あろうかと存じますが、ご指摘、ご鞭撻を頂き、この一年、ロータリーの「奉仕」と「思いやり」の虹で世界を繋ぐ夢を見ながら、すべての地区ロータリアンの皆様、会長、幹事の皆様のご協力を賜わり、全力を傾けて努力をしまいたします。皆様方のご支援をお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。